

案件4 東西交通の円滑な移動に向けた取り組みについて

令和6年度 第3回
富田林市交通会議 資料4

4-1 富田林市地域公共交通計画での位置付けについて

4-2 路線バスの乗り継ぎ割引実証実験について

4-1 富田林市地域公共交通計画での位置付けについて

路線バスの乗り継ぎ割引制度について

「富田林市地域公共交通計画」(抜粋)

○路線バスの乗り継ぎ割引制度の導入

近鉄富田林駅と南海金剛駅の東西の都市拠点間を円滑に移動できる環境の実現に向け、路線バスの乗り継ぎ割引制度の導入に取り組みます。

- 南海バス及び近鉄バスの乗り継ぎについて補助を行うことで、かねてからの課題である東西交通の円滑な移動に向けての可能性及び課題を探る



路線バスの乗り継ぎ(イメージ)

4-2 路線バスの乗り継ぎ割引実証実験について

路線バスの乗り継ぎ割引実証実験について(概要案)

目的	東西交通の円滑な移動に向けての可能性及び課題を探るため、南海バス・近鉄バスを乗り継いだ時に必要な運賃を割り引く実証実験を行う。 また、レインボーバスの便数が9便から3便に減便となっていることにより、路線バスを乗り継いで利用されている利用者に対し、費用面を低減するため。
販売形態	スマホで利用可能な電子チケットとして販売
販売内容	南海バス・近鉄バスでそれぞれ1回のみ利用可能な片道乗車券をセット券として販売
利用方法	利用者はバス利用前にセット券を購入し、バス降車時にバス乗務員が目視で確認を行う
販売額 (利用者負担額)	チケット1枚あたり290円を想定(※1) (近鉄バス片道運賃と同額)
市負担額	①チケット1枚あたり250円を想定(※1) (南海バス片道運賃250円と近鉄バス片道運賃290円の合計540円から、利用者負担額290円を差し引いた金額) ②その他、システム導入費・販売手数料などの諸費用
実証実験期間	令和7年度中に6ヶ月間程度を想定

※1 セット券の販売額(利用者負担額)は、両バス会社の協議により変更となる可能性がある

<参考> 南海バス運賃(金剛駅前～中央センター前)250円

近鉄バス運賃(富田林駅前～中央センター前)290円

4-2 路線バスの乗り継ぎ割引実証実験について

➤ 利用例

● 南海バス金剛駅前から近鉄バス富田林駅前まで行く場合

- ①バス利用前にスマホにてセット券を購入
- ②南海バス金剛駅前にて南海バスに乗車
- ③中央センター前など近鉄バスと乗り換えが可能なバス停にて降車、降車時にバス乗務員にセット券を提示
- ④乗り換えが可能なバス停から近鉄バスに乗車
- ⑤近鉄バス富田林駅前にて降車、降車時にバス乗務員にセット券を提示

補足事項

- ・ 最初の出発地と最終の目的地は金剛駅前もしくは富田林駅前でなくても利用可能(途中のバス停も利用可能)
- ・ 両バス会社でそれぞれ1回のみ利用可能な片道乗車券のため、片方のバス会社のみの利用は不可

内容については、交通会議の審議の結果や今後の検討状況により、変更となる可能性があります。